

写真で見る

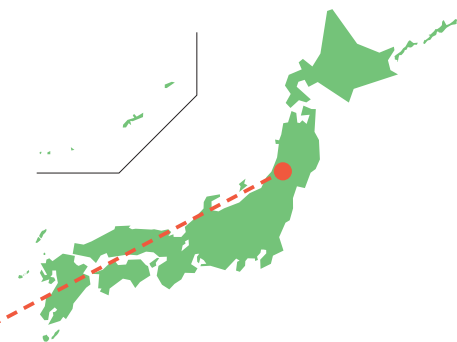
都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

しんじょう

新庄市 (山形県)



令和

4年

(2022年)



交流施設「ゆめりあ」が併設された近代的な駅舎



新庄市総合政策課
広報・地域づくり推進室
いがらしたかし
五十嵐隆志さん

古くから人とモノが行き交うまち「新庄市」

日本有数の豪雪地帯で知られる新庄市。まちの中心に位置する新庄駅は、明治36年に開業しました。鉄道の開通によって都市部との結び付きに変化が生じ、地域の産業や経済の発展に寄与しました。その後、陸羽東線や陸羽西線が接続する拠点駅となり、多くの人やモノが行き交うようになりました。平成11年には山形新幹線の新庄延伸に伴い、駅舎が最上広域交流センター「ゆめりあ」と合築され、現在の美しいガラス張りの建築物となりました。



昭和
20年代
(1940年代)

多くの人やバスが行き交う
新庄駅前